

S I P 第 3 期「バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」 社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について

令和 8 年 5 月 28 日
バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備
プログラムディレクター 持丸 正明

今般、バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備においては、中間年度評価を受けた課題全体像、方針及び体制見直しのため、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更を行いたい。主な変更内容は以下のとおり。

1. I. Society 5.0 における将来像

2025 年度の中間年度評価の結果をふまえ、課題当初設定の目指す将来像（ビジョン）は変更せずにテーマの重点化の観点でフィジカル AI 台頭をふまえた各種政府戦略・方針との連携やマルチモーダルコンテンツ社会浸透に向けたルール基盤整備を加速させる旨を追記した。

2. II. 社会実装に向けた戦略

本課題のミッションで定める将来的な国内バーチャルエコノミー圏 1.6 兆円の上振れ効果という定量目標を 2025 年度再試算し、既にデジタル化されたデータのみで形成するバーチャルエコノミーが頭打ちになってしまっている業界の存在をふまえ、インターバース活用による新たなデジタルデータ創出を推進することで当初ミッション通り 1.6 兆円の上振れ効果創出を目指す旨追記した。

同ミッション実現に向け、産学官連携の中核機能を果たすインターバース社会実装推進メタコンソーシアム運営や課題テーマ間連携、他課題・ムーンショット等との連携を加速する方針を追記した。

3. III. 研究開発計画

1. 及び 2. の詳細として過年度研究開発の予算・進捗状況等の記載を更新すると共に、国際標準戦略の調査検討や展示会・シンポジウムでのアウトリーチ活動の一体的な運用方針を補記した。

4. IV. 課題マネジメント・協力連携体制

SPD 及び調査分析・業務支援機関に関する課題マネジメント体制の変更について更新した。

5. V. 評価に係る事項

ピアレビュー、ユーザーレビュー及びステージゲートに関する実施体制の記載を更新した。

以上